



第52期 報告書

平成23年4月1日から
平成24年3月31日まで





おいしさと健康と
あんしんを食卓に

私たちは
取り組んでいます

いつも
お客様とともに

健康創造企業

おいしさと
安全のために

現代人の食と
栄養のために

Fujicco
concept

Top Message

代表取締役社長

福井ふー



■ ごあいさつ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。

■ 当期の事業環境

当連結会計年度におけるわが国経済は、東日本大震災による落ち込みから持ち直す過程で、欧州債務危機や円高などの影響を受け、先行き不透明な状況が続きました。

食品業界におきましては、川上インフレ、川下デフレから脱却する兆しが見えず、厳しい状況が続きました。

■ 当期の取り組み

このような状況下、当グループにおきましては、当期よりスタートしました4か年にわたる中期経営計画に基づき、主力となる昆布・豆製品の強化、利益体質への転換、包装惣菜「おかず畑」と「カスピ海ヨーグルト」の育成、新販路（業務用・通信販売事業・機能性素材分野）の育成に取り組みしました。

研究開発活動では、「カスピ海ヨーグルト」のインフルエンザウイルス増殖抑制作用、黒大豆ポリフェノールの人に対する脂質代謝改善作用や血流改善作用等の学会発表を行い、製品価値の向上を目指しました。

原発事故の発生以来、お客様からの放射能に関するお問い合わせが増加し、ゲルマニウム半導体検出器を導入して、グループ内で使用水、原材料および製品での放射性物質の精密検査ができる体制を整えました。

売上面におきましては、原材料価格の上昇に伴う昆布製品の値上げや煮豆の低価格商品の台頭などの影響で、昆布製品、豆製品が前年実績を下回りましたが、次なる柱として

期待する包装惣菜「おかず畑」、「カスピ海ヨーグルト」が大きく伸長し、そう菜製品、デザート製品が前年実績を上回りましたことから、当連結会計年度の売上高は532億47百万円（前期比0.9%増）となりました。

利益面におきましては、売上高の増加や各種経費の抑制等により、営業利益は36億7百万円（前期比8.7%増）、経常利益は38億53百万円（前期比7.6%増）、当期純利益は20億99百万円（前期比16.4%増）となりました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、増収増益となりました。

■ 今後の見通しとビジョン

今後の国内景気につきましては、緩やかな回復基調にあるものの、原油高や原子力発電所停止による電力不足などの懸念が残り、先行き不透明な状況が続くと思われれます。

食品業界におきましては、原料や資材価格が上昇する一方、お客様の低価格志向は続き、厳しい状況が予想されます。

このような状況下、当グループにおきましては、中期経営計画の2年目として、昆布・豆製品の立て直し、全社横断的な活動による利益体質への転換、おかず・ヨーグルト製品の育成、新販路の育成等に取り組み、お客様満足の向上を図ってまいります。

そして、中期ビジョンとして掲げる「お客様に信頼される健康創造企業」の実現を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成24年6月

ふじっ子あんしんシステムとは

使用原料のあんしん対策の中核は、材料の厳選はもちろんですが、お客様の関心の高い放射性物質検査や残留農薬検査などの検査を実施すること、そしてその結果と共に商品ごとの材料原産地から製造状況までの情報を公開することからなっています。

「ふじっ子だから安心」といわれ続けたい。—— こんな一途な思いから、専門部署「食品安全検査室」を設置し、生産者との長年の信頼関係の上にさらに自社検査を重ねてダブルチェックを行い、それらの情報を公開してご信頼に応える体制を構築しています。



「ふじっ子だから安心」と いわれ続けたい

顔の見える企業へ —

「健康創造企業」を目指すフジッコは、お客様の健康をなにより大切に考えて続けてきた努力を、ここまで進めてきました。残留農薬や遺伝子組換えの検査は、精度の高いシステムと自負していますが、私達の努力はこれに留まりません。ハードの技術を磨くと共に、情報を分かりやすくお伝えするなど、「あんしん」のためのソフトをもっともっと充実させていきます。



放射性物質検査

あんしん
1

残留農薬検査

あんしん
2

遺伝子組換え検査

あんしん
3

フジッコトレースシステム

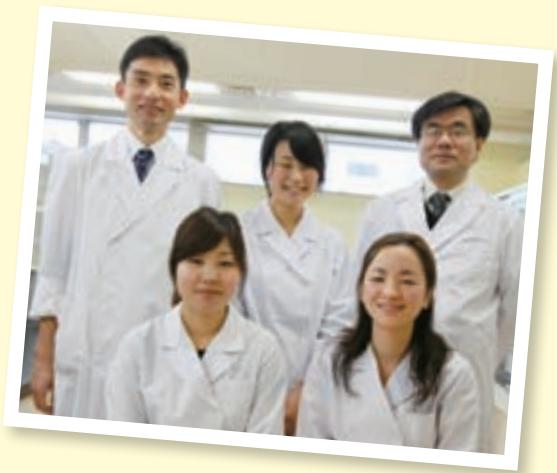
あんしん
4

放射性物質検査

なぜ導入したの？

東京電力福島第一原子力発電所の事故以降、多くのお客様から商品の安全性に関する問い合わせをいただいております。

特にお子様をもつお母様からは、放射性物質による汚染を心配する思いが、受話器を通してひしひしと伝わってきました。その思いに応えるために、2011年5月から放射能簡易検査器を4台導入し、さらに、11月からは放射能の精密検査ができるゲルマニウム半導体検出器を導入し、より迅速に精密な分析を行える体制にしました。



2012年4月1日より食品中の放射性物質の基準が厳しくなりました

食品区分	これまでの暫定基準 (Bq/kg)	新基準 (Bq/kg)
水	200	10
牛乳	200	50
乳児用食品	500	50
一般食品	500	100

新しい基準では、これまでの暫定基準に対して水で1/20、一般食品で1/5とより厳しくなります。

当社の放射性物質検査体制について

当社では、2011年11月よりゲルマニウム半導体検出器を導入し、使用水、原材料および製品での放射性物質検査を行っています。この検出器は、精度が高く、放射性セシウムや放射性ヨウ素などの放射性物質の種類ごとに測定することができます。ゲルマニウム半導体検出器は検出下限値を低く出来るので、新しい基準値に十分対応した分析ができます。

また、放射性物質の検査結果は、随時ホームページで公開しております。

ゲルマニウム半導体検出器の検査方法



① 入荷した原料を測定容器に詰めます。
測定用の容器（マリネリ容器）に均一に詰めます。野菜などは細かく刻みます。



② ゲルマニウム半導体検出器により測定します。
容器を検出器にセットして、測定を開始します。



③ 結果を解析します。
測定データから、それぞれの放射性物質（ヨウ素131、セシウム134、セシウム137）の量を解析します。

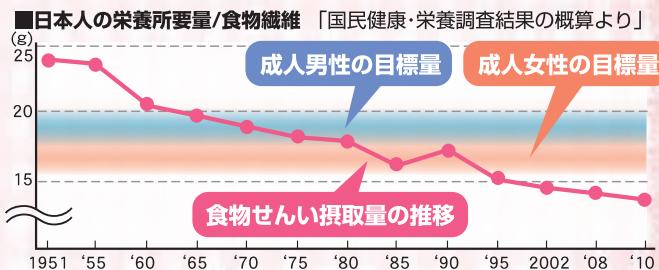
ふじっ子あんしんシステムはこちらからご覧いただけます

<http://www.fujicco.co.jp/anshin/index.html>



足りないセンイの、おいしい足し算…食物せんい

便秘の予防や身体に良いものといわれ注目される「食物せんい」。しかし、日頃の食事から摂り入れるのはなかなか難しいようです。食の欧米化などに伴い、その摂取量は年々減り続け、この50年で半分まで減少し、目標量に足りていません。「日本人の食事摂取基準」(2010年版 厚生労働省)では、今後5年間の実現可能な目標として、摂取目標量を18歳以上では1日あたり男性19g以上、女性17g以上としており、かなりの努力が必要です。フジッコでは、食物せんいが多く含まれる「おまめさん」を通して、健康な生活に役立てていただくとう「プラス!おまめさん」をご提案しています。



朝食に!おべんとくに!夕食に! プラス!おまめさん いつもの食事に「プラス!」

TVCMで注目度アップ!

本年5月1日より6月10日まで、首都圏・近畿圏・中京圏で「♪プラス!おまめさん♪」のTVCMを大量に放映。せんい不足が続く現代に、いつもの食事に「おまめさん」をプラスするだけで食物せんいがグンとアップする意識付けを行い、大変ご好評をいただいております。

ブランドサイト「おまめマルシェ」開設

食物せんいの正しい知識をはじめ、毎日の献立に役立つメニュー紹介、製品情報、イベント情報を満載したホームページブランドサイト「おまめマルシェ」を開設しました。

<http://www.fujicco.co.jp/omamemarche/index.html>

おいしい「まメニュー」もご紹介



食物せんいを毎日の食事で、賢く上手に摂り入れていただくとう、「おまめさん」を使った簡単でヘルシーなメニュー「まメニュー」を、お客様に一番近い店頭でご紹介しています。また、一部商品では、パッケージでもご紹介し、食物せんい不足の解消のお役に立つ提案を行っています。



こだわり煮豆 やさい豆
せんい量 2.8g



こだわり煮豆 こんぶ豆
せんい量 3.8g

不足の現代に「プラス！おまめさん」をご提案！

足りない「おまめさん」を各 センイの、おいしい足し算。

媒体でご紹介！食物せんい不足の解消においしく貢献します

TVCMで



TVCMなどマス媒体を通して話題づくりを

ブランド
サイトで



ホームページで正しくおいしい情報提供を

店頭で



食物せんいたっぷりの「まメニュー」をご提案

おまめさん®



こだわり煮豆 きんとし
せんい量 5.1g



こだわり煮豆 黒豆
せんい量 2.8g



こんぶ豆
せんい量 4.7g



きんとし
せんい量 5.7g



丹波黒黒豆
せんい量 4.8g



茶福豆
せんい量 6.1g



白花豆
せんい量 6.9g

※せんい量は100g中の食物せんい量です。※上記掲載の商品は一例です。



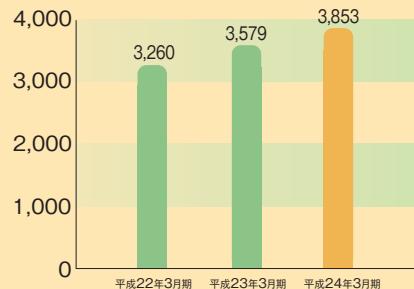
FUJICCO 06

連結財務ハイライト

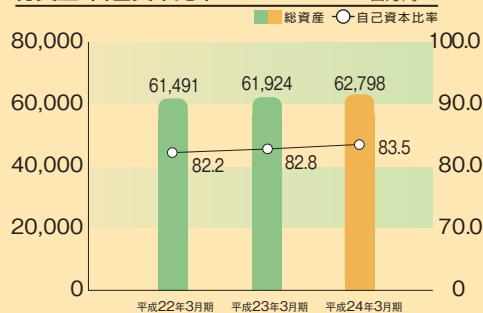
売上高 百万円



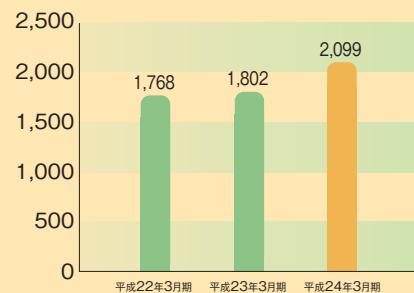
経常利益 百万円



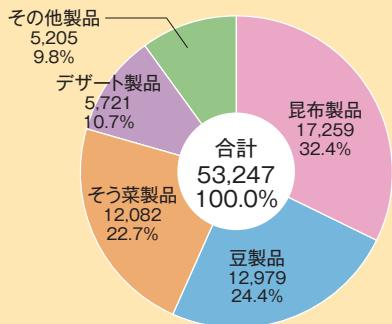
総資産・自己資本比率 百万円・%



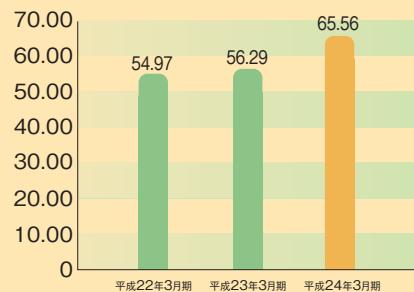
当期純利益 百万円



製品分類別売上高 百万円



1株当たり当期純利益 円



連結貸借対照表		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (平成23年3月31日現在)	当 期 (平成24年3月31日現在)	
資産の部			
流動資産	28,101	30,345	
固定資産	33,823	32,452	
有形固定資産	27,153	25,995	
無形固定資産	1,206	800	
投資その他の資産	5,462	5,656	
資産合計	61,924	62,798	
負債の部			
流動負債	8,661	8,453	
固定負債	1,911	1,838	
負債合計	10,573	10,292	
純資産の部			
株主資本	51,218	52,353	
資本金	6,566	6,566	
資本剰余金	7,302	7,302	
利益剰余金	40,546	41,684	
自己株式	△3,197	△3,200	
その他の包括利益累計額	71	91	
その他有価証券評価差額金	71	91	
新株予約権	61	61	
純資産合計	51,351	52,506	
負債純資産合計	61,924	62,798	

連結損益計算書		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)	当 期 (自 平成23年4月 1日 至 平成24年3月31日)	
売上高	52,794	53,247	
売上原価	32,643	32,868	
売上総利益	20,150	20,379	
販売費及び一般管理費	16,831	16,771	
営業利益	3,319	3,607	
営業外収益	280	266	
営業外費用	20	21	
経常利益	3,579	3,853	
特別利益	33	8	
特別損失	486	66	
税金等調整前当期純利益	3,126	3,794	
法人税、住民税及び事業税	1,441	1,534	
法人税等調整額	△117	161	
少数株主損益調整前当期純利益	1,802	2,099	
当期純利益	1,802	2,099	

連結キャッシュ・フロー計算書		(単位:百万円)	
科 目	前 期 (自 平成22年4月 1日 至 平成23年3月31日)	当 期 (自 平成23年4月 1日 至 平成24年3月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,640	3,802	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,669	△3,307	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,189	△1,171	
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	
現金及び現金同等物の増減額	781	△675	
現金及び現金同等物の期首残高	11,127	11,908	
現金及び現金同等物の期末残高	11,908	11,233	

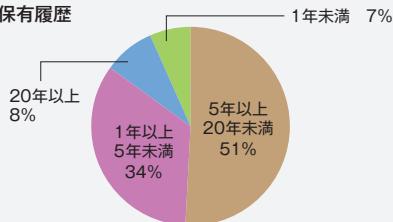


フジッコ株主アンケート結果

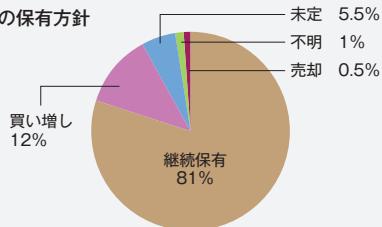
第52期中間報告書に同封いたしましたアンケートには、多数の株主様からご回答をいただき誠にありがとうございました。今回、そのアンケート結果の一部を掲載させていただきます。

実施日：2011年12月
 実施方法：52期中間報告書に同封
 株主数：5,665名（内個人5,312名）
 回収：2,243通 回収率39.6%（42.2%）

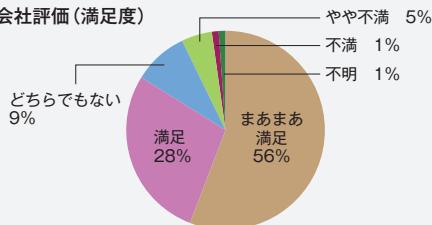
1. 株式保有履歴



2. 今後の保有方針



3. 会社評価(満足度)



■会社の概要 (平成24年3月31日現在)

社名	フジッコ株式会社
本社所在地	神戸市中央区港島中町6丁目13番地4
事業内容	昆布製品、豆製品、そう菜製品及びデザート製品等を主体とした食品加工業
創業	昭和35年11月7日
資本金	65億66百万円
従業員	2,298名
工場	兵庫2、埼玉1、千葉1、神奈川1
物流センター	兵庫1、埼玉1
営業所	全国25拠点
連結子会社	<ul style="list-style-type: none"> ●フジコン食品株式会社 ●フジッコワイナリー株式会社 ●味富士株式会社 ●フジッコフーズ株式会社

■役員 (平成24年6月26日現在)

代表取締役会長	山岸	八郎
代表取締役社長	福井	正一
取締役副社長	関	忠司
専務取締役	奥平	武則
常務取締役	原田	彰三
常務取締役	宗形	豊喜
常務取締役	籠谷	一徳
取締役	萩原	郁夫
取締役	山田	勝重
取締役	石郷岡	隆
取締役	石田	吉隆
取締役	河内	茂
取締役	山崎	章史
取締役	北島	幹也
取締役	堀	郁郎
取締役	桑名	好恵
非常勤取締役	岩井	邦夫
社外取締役	家森	幸男
常勤監査役	池田	善弘
監査役	土井	信幸
監査役	尾崎	弘之

■株式の状況 (平成24年3月31日現在)

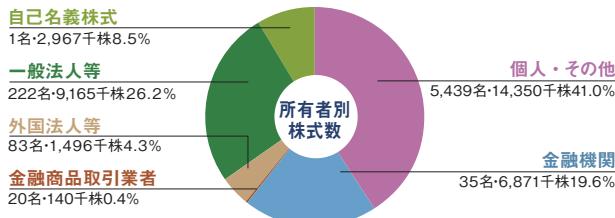
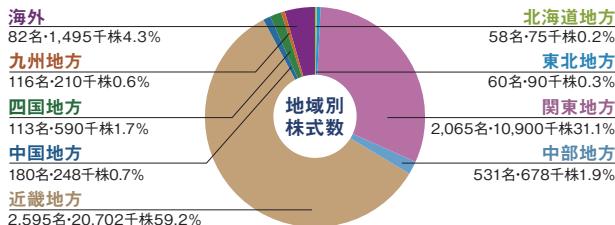
発行可能株式総数	108,000,000株
発行済株式の総数	34,991,521株
株主数	5,800名

■大株主の状況 (平成24年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
有限会社ミニマル興産	5,420	16.92
山岸八郎	1,736	5.42
山岸英子	1,033	3.22
福井正一	1,015	3.16
株式会社三菱東京UFJ銀行	895	2.79
住友生命保険相互会社	854	2.66
日本生命保険相互会社	687	2.14
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	646	2.01
田中久子	616	1.92
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	600	1.87

(注) 1. 当社は、自己株式2,967,628株を保有しておりますが、上記には含めておりません。
2. 持株比率は、自己株式2,967,628株を控除して計算しております。

■株式分布状況 (平成24年3月31日現在)



(注) 「金融商品取引業者」とは、「証券業」を含む金融商品取引業者を指し、従前の「証券会社」と同様の範囲となります。

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
期末配当金 受領株主確定日	3月31日
中間配当金 受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777(通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL http://www.fujicco.co.jp/corp/koukoku/index.html (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

ご注意

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなります。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記の連絡先にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

配当金について

当社定款の規定に基づき、平成24年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対し、次のとおり期末配当金を支払います。

- | | |
|-----------|------------|
| 1 配当金 | 1株につき金15円 |
| 2 効力を生じる日 | 平成24年6月27日 |



この印刷は環境に優しい
植物油インキを使用しています。



食よく、バランスよく。[®]

「新・日本型食生活」をめざして

フジッコ株式会社
神戸市中央区港島中町6丁目13番地4